

町村週報

(町村の購読料は会費)
の中に含まれております)

3275号

毎週月曜日発行

発行所 全国町村会 〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号：電話03-3581-0486 FAX03-3580-5955

発行人 横田真二：定価1部40円・年間1,500円(税、送料含む) 振替口座00110-8-4767

<https://www.zck.or.jp/>



地産の木でつくられたためくもりのある学び舎「かわかみ源流学園」(写真提供:奈良県川上村役場)

もくじ

政 策
情 報
フ ォーラム
随 想

「未来技術社会実装事業」の紹介
〜関係府省庁の伴走型支援による未来技術を活用した地域課題の解決〜
内閣府 地方創生推進事務局 米山 敦基…
都道府県別市町村数…
観光・関係人口増加のための婦恋スマートシティII群馬県婦恋村…
町村ご当地キャラじまん…
風が吹かれて…
青森県町村会長・七戸町長 小又 勉…
(12)(11)(6)(5)(2)

コラム

源流の村の新たな金字塔 ―奈良県川上村のかわかみ源流学園―

早稲田大学名誉教授 宮口 侗 勉

この欄でたびたび取り上げてきた川上村に、また一つ素晴らしい話題が生まれた。この村は地域おこし協力隊の招致と育成にも力を入れていて、この2月村の中心にあるホールで、その報告会を開催、多くの村民が参加し、総務省や県から、そして小生も駆け付けた。その日、村に入っただけで、道路の対岸に大きな木造の新しい建物が目に入った。これこそ現栗山村長が就任当初から唱えてきた義務教育9年間の一貫校、「かわかみ源流学園」の雄姿であった。

川上村は銘木を育ててきた吉野林業の発祥の地である。200年を超える杉の人工林が山々を覆うが、残念ながら林業にはかつての勢いはない。ダム建設を受け入れて水源地の村づくりを断つて、第5次の総合計画では「子育てプラン」を大きな項目とし、保小中の一貫教育の推進が掲げられた。そしてこの3月に、すべて川上村産の木材を使用した、3階建ての本格的な木造校舎が竣工したのである。

写真キャプション

保育園を併設した小中一貫教育の川上村立かわかみ源流学園が、令和6年4月に開校する。「15の春は正夢に」をコンセプトに「ふるさとに学び力強く自らの未来を切り拓く子どもの育成」をめざす。幼児からの12年間を自然環境豊かな「一つの学校」で育て、子どもたちや保護者の夢(希望)を正夢(現実)にする。

「未来技術社会実装事業」のご紹介

～関係府省庁の伴走型支援による 未来技術を活用した地域課題の解決～

内閣府 地方創生推進事務局 米山 敦基

未来技術社会実装事業とは

未来技術社会実装事業は、デジタル田園都市国家構想総合戦略（令和5年12月26日閣議決定）に基づき、スマートシティの実現を推進するため、AI、IoTや自動運転、ドローン等の未来技術を活用した地域課題の解決と地方創生を目指す地方公共団体の取組に対して、未来技術の社会実装に向けた現地支援体制（地域実装協議会）を構築し、関係府省庁による総合的な支援を行う事業です。

支援については、選定から原則3年間（2年間の延長も可とする）での社会実装を目指し、複数年にわたる伴走型支援を行うものであり、これまで平成30年度から令和5年度までに合計55事業を選定しております。

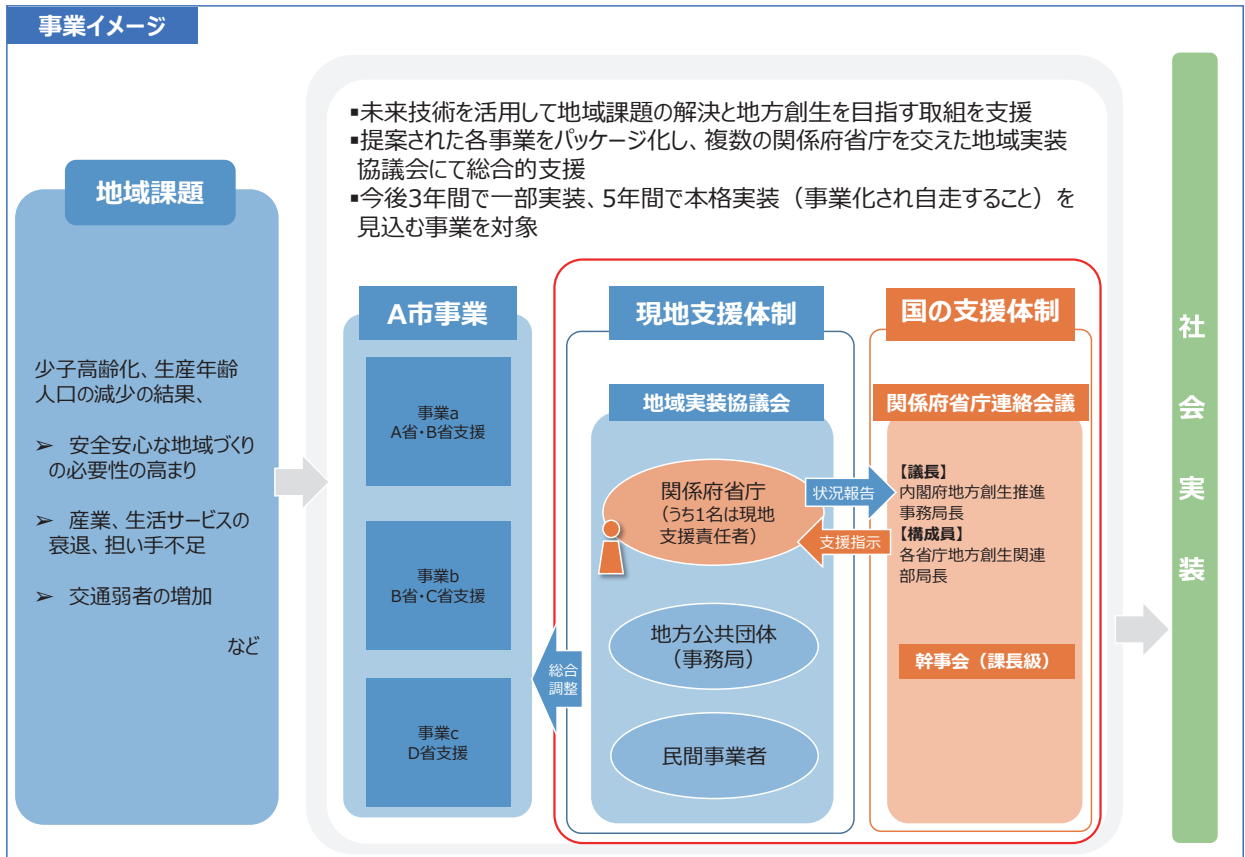
内閣府による伴走型支援について

現地支援体制（地域実装協議会）の構築以外にも左記のような支援を実施しています。

1. 各選定団体における取組状況の共有

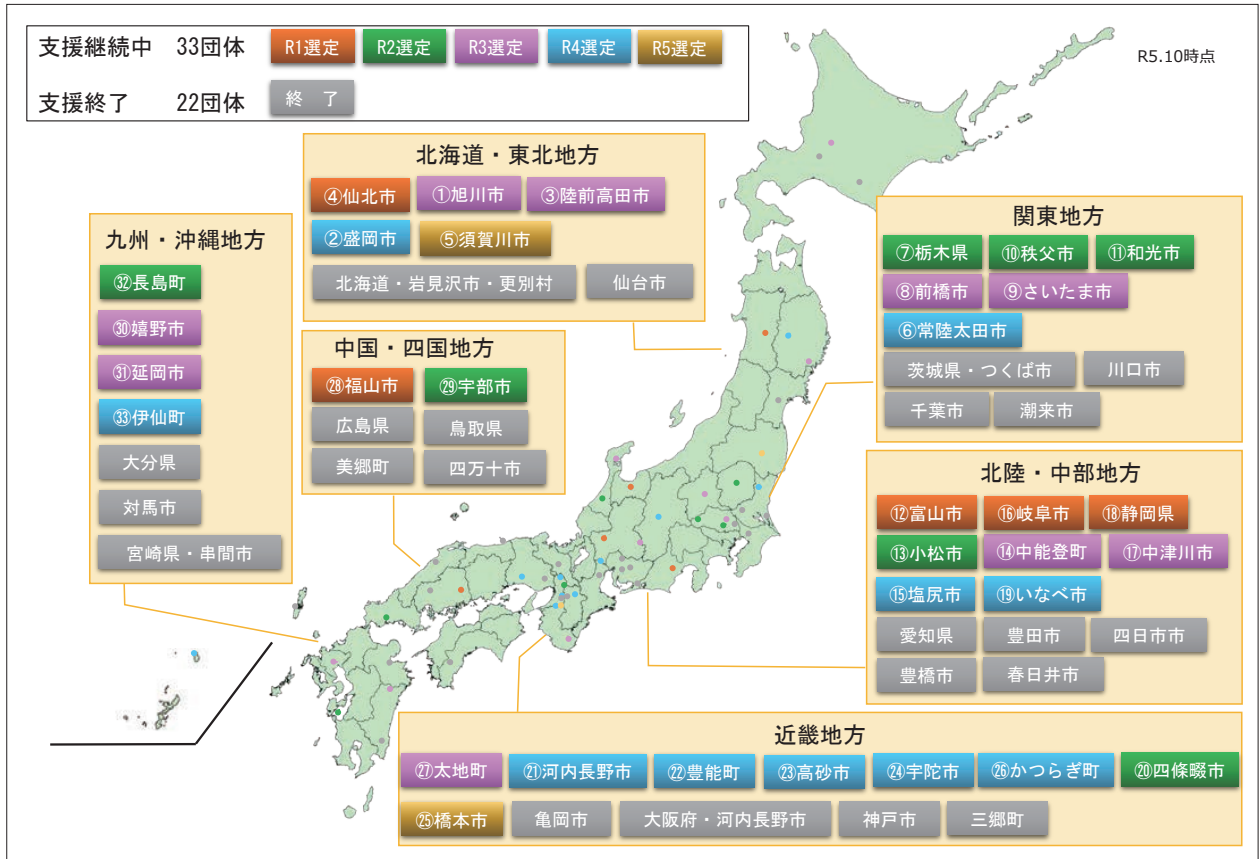
○各選定他団体の取組状況について、年1回、概要資料の作成、更

▼図1 未来技術社会実装事業のイメージ



政 策

▼図2 未来技術社会実装事業の選定団体一覧



- 3年目及び5年目においては、新をすることで情報共有を実施。
- 取組状況の概要に加え、事業推進にあたり苦労した点や、工夫した点、担当者の声をまとめた「取りまとめ報告書」を作成していただき、情報共有を実施。
- 2. 交流会・ミニシンポジウムの開催（年2〜3回程度）
 - 先進事例の見学や有識者の基調講演、意見交換会等を通じ、未来技術社会実装のための知識の共有を図るとともに、選定団体同士の交流機会を設定。
 - ミニシンポジウム（オンライン開催）は、未来技術を活用した先進事例を紹介し、未来技術の活用に取り組む際の注意点等を学ぶ機会を提供。
- 3. 定期的なメールマガジンの配信
 - 法改正や審議会等の国の最新動向
 - 国内外の最新事例
- 4. その他
 - 「デジタル田園都市国家構想交付金」の活用を検討する団体を対象に、オンラインでの事前相談を実施。
 - 各府省庁の補助金情報を取りまとめ、選定団体へ周知。



▲図3 交流会の様子

政 策

選定団体の取組事例
自治体(和歌山県太地町)
支援関係府省庁(国土交通省等)
活用技術(自動運転)

未来技術社会実装事業に選定した地方公共団体のうち、和歌山県太地町(令和3年度選定)の取組について紹介します。

同町は、高齢化率が上昇傾向にあり、高齢者が多く居住するエリアは家屋が密集しており、既存のコミュニティバスでは走行ができないほど道路が狭く、バス停まで歩いていくのも困難であるという地域課題を抱えていました。そこで、ラストワンマイルの移動支援が必要ということで、未来技術社会実装事業に申請され、地域課題の解決に取り組んできました。

未来技術社会実装事業に選定後は、伴走型支援の一環として、現地支援責任者に国土交通省近畿地方整備局紀南河川国道事務所長を据え、各関係府省庁や民間事業者、研究機関を構成員とした「太地町未来技術地域実装協議会」を立ち上げました。地域実装協議会では、地域課題や事業の進捗状況等を共有し、今後の取組について話し合っています。

高齢者等のラストワンマイルの移動支援として、グリーンスローモビリティを活用した自動運転サービス



▲図4 和歌山県太地町の自動運転車両

の導入に向けて議論を重ね、未来技術社会実装事業に選定してから約1年後には、自動運転レベル2の実証実験を2か月間実施しました。誰もが気軽に利用できるよう運賃は無償とし、悪天候を除き毎日運行しました。地域の拠点となる役場やスーパー、病院を周回することで、高齢者の外出を促進することができました。

実証実験終了後は効果検証を行い、自動運転に対する安全性・快適性・定時性・利便性・継続性について高い評価を得ました。また、地域住民から早く実装してほしいとの声が多く挙がったことから、実証実験のわずか1か月後には、車両を2台に増やし、本格的に自動

運転サービスを実装しました。約20分間隔で毎日18便を運賃無償で運行しています。今では自動運転が地域になじみ、ある高齢者は「私のマイカー」と呼ぶほどに定着しています。

町村こそ「未来技術社会実装事業」で地域課題の解決を

先述の和歌山県太地町の取組事例のように、未来技術は地域の規模に関係なく活用が可能です。他にも未来技術社会実装事業に選定した町村の取組として、左記のよ

うな事例もあります。

- ・自動運転
- ・スマート農業
- ・見守り・防犯システム
- ・オンデマンド交通

未来技術活用相談窓口のご案内

未来技術を活用した地域課題の解決に興味はあるけれど、どのように取り組めば良いかわからない等の悩みがあれば、是非「未来技術活用相談窓口」をご活用ください。

未来技術とは… AI, IoTや自動運転、ドローン等

未来技術の活用を考える地方公共団体向けに

相談窓口 を設置します!

未来技術の活用について

- 解決したい地域課題があるけど、何から手を付けたらいいかわからない…
- 活用したい技術はあるけど、具体的に何から進めていいかわからない…
- 活用したい技術について、先行事例を知りたい…

お気軽にご相談ください!

相談はこちらから。

※「未来技術社会実装事業」に応募する意向がない場合にもご相談は可能です。

お問い合わせ先
 内閣府地方創生推進事務局 都市再生・未来技術実装担当
 ☎ 03-6206-6175

▶図5 未来技術活用相談窓口

政 策

未来技術活用相談窓口では、地域の抱える課題を解決するためにどのような未来技術が活用できるのか、実装に向けてどのように進めれば良いのか、など地方公共団体の職員の皆様の疑問に係る相談対応や、未来技術を活用した先行事例の紹介、未来技術社会実装事業の応募に向けた応募様式の作成相談といった支援を行います。

なお、未来技術社会実装事業への応募の意向がない場合にもご相談は可能です。

未来技術社会実装事業の募集について

○スケジュール

4月上旬 公募開始

5月中旬 公募〆切

6月中旬 スマートシティ合同審査

6月下旬 選定結果の公表

○募集する提案の対象

次の1～4に該当する事業を対象とします。

1. 未来技術を活用し、地域課題を解決する(地方創生に寄与する)事業であること

2. 新規性、先進性があり、かつ、将来の横展開・本格普及にふさわしい事業であり、具体的には左記の要件に該当する事業であ

ること

・ AI、IoTや自動運転、ドローン等の未来技術の実装に関する事業であること

・ 多くの地域に共通する地域課題の解決を目指す取組や技術的に他地域への普及が可能な取組等で、取組の成果が他の地域へ広がる蓋然性が認められる事業であること

3. 今後3年間で実装(一部でも可)が見込まれ、5年間で本格実装される(事業化され自走する)事業であること
4. 省庁横断的な支援を必要とする事業であること

※詳細はホームページをご覧ください。

(参考)

未来技術社会実装事業

<https://www.chisou.go.jp/tiki/kinmirai/index.html>

問い合わせ先

内閣府地方創生推進事務局

電話 03-62206-6175

メール gmirai.sfm@cao.go.jp

都道府県別市町村数

(令和6年4月1日現在)

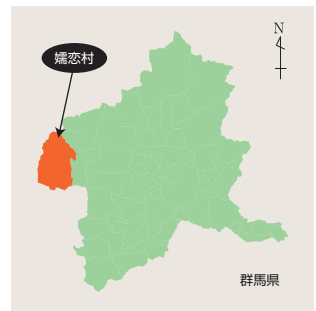
都道府県	町	村	町村計	市	計	都道府県	町	村	町村計	市	計	都道府県	町	村	町村計	市	計
北海道	129	15	144	35	179	富山県	4	1	5	10	15	岡山県	10	2	12	15	27
青森県	22	8	30	10	40	石川県	8	0	8	11	19	広島県	9	0	9	14	23
岩手県	15	4	19	14	33	福井県	8	0	8	9	17	山口県	6	0	6	13	19
宮城県	20	1	21	14	35	長野県	23	35	58	19	77	徳島県	15	1	16	8	24
秋田県	9	3	12	13	25	岐阜県	19	2	21	21	42	香川県	9	0	9	8	17
山形県	19	3	22	13	35	静岡県	12	0	12	23	35	愛媛県	9	0	9	11	20
福島県	31	15	46	13	59	愛知県	14	2	16	38	54	高知県	17	6	23	11	34
茨城県	10	2	12	32	44	三重県	15	0	15	14	29	福岡県	29	2	31	29	60
栃木県	11	0	11	14	25	滋賀県	6	0	6	13	19	佐賀県	10	0	10	10	20
群馬県	15	8	23	12	35	京都府	10	1	11	15	26	長崎県	8	0	8	13	21
埼玉県	22	1	23	40	63	大阪府	9	1	10	33	43	熊本県	23	8	31	14	45
千葉県	16	1	17	37	54	兵庫県	12	0	12	29	41	大分県	3	1	4	14	18
東京都	5	8	13	26	39	奈良県	15	12	27	12	39	宮崎県	14	3	17	9	26
神奈川県	13	1	14	19	33	和歌山県	20	1	21	9	30	鹿児島県	20	4	24	19	43
山梨県	8	6	14	13	27	鳥取県	14	1	15	4	19	沖縄県	11	19	30	11	41
新潟県	6	4	10	20	30	島根県	10	1	11	8	19	合計	743	183	926	792	1,718

特集 デジタル技術を使った地域活性化



▲浅間山は、嬭恋村と長野県軽井沢町及び御代田町との境にある標高2,568mの活火山

群馬県 嬭恋村



観光・関係人口増加のための 嬭恋スマートシティ

ポイント

1. 観光×防災であるということ
旅前・旅中、安心して楽しめるようR2年度構築の防災スマートシティに機能追加。平時は観光、有事には災害情報も受け取ることが可能。
2. 観光客の情報を体系的にビッグデータとして蓄積し活用できる仕組みであること
観光に対する想い、行動情報、アンケート情報など消費者の情報を蓄積し可視化することで、予測予想で施策立案せざるを得ない観光業にエビデンス（裏付け）を与える。
3. LINEを介したPUSH型の採用と、さまざまな角度から自由

由に嬭恋村を感じられること
嬭恋村を知っていたくために受け身の姿勢では成功しな
いと判断。ファンが増えるよ
うに定期的なPUSHを可能
とした。

スマートシティ(FIWARE)を基盤とし、ビッグデータを活用することでこれまでの観光業にさらなる可能性を与えている。また、観光情報の集約と発信をスマート化したことで観光客への情報の還元がしやすさと観光収益増加(GW前年比の観光客数の一部:100%UP(27、500人↓55、000人))につなげている。

フォーラム

孺恋村について

孺恋村は群馬県の西北部に位置し、東は長野原町・草津町に、西・南・北の三方は長野県に接しており、浅間山・湯の丸・吾妻山（四阿山）・白根山などの標高2,000m級の山々が連なる山麓に広がる高原の村です。

孺恋村で栽培される「高原キャベツ」は、昼夜の温度差と高原特有の朝露により甘味のある美味しいキャベツとなり、夏秋キャベツの出荷量は日本一です。

また、万座温泉・鹿沢温泉・浅間高原・バラギ高原等のエリアを中心に、温泉や雄大な自然、ダイナミックな景観を楽しむことができます。



▲孺恋村で栽培される「高原キャベツ」

孺恋村のデジタル化の取組

孺恋村のDX推進の取組は、令和元年に発生した台風19号の被害を教訓とした災害対策が始まりました。この災害では、人的な被害はありませんでしたが、災害対策本部の設置、避難所の開設、道路崩落による集落の孤立、住宅等の被害が多く発生し、復旧復興においてもかなりの時間を要しました。そんな危機的状況を経て、「村民の生命、財産を守る」という理念の元から、令和2年度にLINEアプリを使った、防災・規制情報、災害時における避難所の開設状況を、瞬時に住民に知らせる情報発信ツール「防災システム」として「孺恋スマートシティ」のプラットフォームを構築しました。

令和3年度において、災害時以外での「防災システム」の活用や、広域的な波及へとつなげるため「地域活性化起業人制度」を活用し、民間企業からシステムエンジニアを受入れ、専門的知識を活かしたデジタル化を推進することにより、職員の意識の向上や、これからの取組について理解していくことで、組織全体のインセンティブとしての活性化につなげられるように取り組まれました。コロナ禍で観光需要が減少していく中で、アフターコロナを見据え、今まで抱えていた観光地域の課題解決にデジタル化を採り入れられな

いか検討しました。結果、観光と交流の推進に向けたAIチャットボット・ビッグデータの活用を取り入れたシステムへの更新を行う取組「観光・関係人口増加のための孺恋スマートシティ」を始めることにしました。

まず観光のデジタル化に向けて、次の課題に取り組む必要があります。

- ① 観光客・関係人口情報が体系的に集約されていない
- ② 紙やネット上で多量の観光情報がばらばらに散在
- ③ 広い地域に観光地が点在し観光客にわかりにくい

観光データの利活用による「孺恋ブランド」力の強化を目標に、これらの課題を地元観光協会、観光事業者と交え検討を重ね、次の3点を実現することにしました。

- ① 観光客のビッグデータ分析によるPDCA
- ② 観光データを集約し、観光客に提供（チャットボット・プッシュ通知）
- ③ 現在位置からの周辺施設や店舗の情報提供

1. 観光客のビッグデータ分析によるPDCA

今まで孺恋村に観光に来られた方が何を求めているのか、観光情報の入手経路、観光客・関係人口のデータについて、正確には把握していませんでした。そこで、モバイル空間統計調査、

プレミアムパネルアンケート調査によるビッグデータを活用した観光調査を行うことにより、村内の観光事業者にさまざまな切り口から可視化したデータの提供を行うことを目指しました。

「モバイル空間統計」調査は、モバイル端末の位置情報データを使用し、村内にどんな人が訪れているか、ほかにどこを訪れたか、日帰り・宿泊の判別を行う新たな人口統計調査です。

この情報をグラフ化し、観光客数を推計することで、村内の各エリアや周辺市町村との周遊関係进行调查しました。孺恋村は万座温泉と浅間高原で観光客層が全く異なるなど、エリア間の差が大きいたことが特徴です。そうした経緯から、村内のエリア別の調査を行いました。

「プレミアムパネルアンケート」調査は、スマートフォンを使った大規模なニーズ分析を行うためのアンケート調査です。関東圏の対家エリアから、村の来訪経験、観光資源について調査しました。孺恋村の各資源について具体的に調査することで、観光マーケティング戦略に役立つデータを収集することが目的です。

孺恋村観光協会によって分析結果の活用について検討を進め、将来的にはその他の統計データとともに広く村内の事業者が利用できることを目指しています。

フォーラム

2. 観光データを集約し、観光客に提供(チャットボット、プッシュ通知)

観光データの集約においては今まで整理されていなかったデータの整理を行うとともに情報発信をしていなかった事業者に対し観光協会の職員が丁寧に説明を行い協力していただくことにより進めていきました。

それにより観光客が求める情報を的確に提供できるよう努め、情報にアクセスするために、「エリアから探す」



▲ 嬭恋スマートシティ「観光」の主なメニュー。エリア、テーマ等から情報を探索できるほか、24時間返答できるチャットボット機能も搭載

「テーマから探す」「地図から探す」等の機能を構築しました。また、求める情報が定まっていな観光客に対しては、自動でユーザーとの会話を行うプログラム「チャットボット機能」で、観光客からの質問に24時間返答することができ、知りたい情報をいつでも入手できます。予め登録した単語や文章などのテキストを使用して、観光協会ホームページ内のデータベース上で管理している各施設の情報を反映させるアプリケーションを用いて、ユーザーからの質問に対して、適切な回答を引き出せるように運用しています。施設情報の更新や新規施設の追加はすべて観光協会ホームページ上のデータベース内で行い、実際にユーザーがLINE上でどのような発言をするかを予め想定したうえで、文章や単語の登録をアプリケーション内で行い、ユーザーからの質問に対し適切な回答が反映されるようにしています。

現在は、常に最新のデータをユーザーに提供できるように村内施設のデータ情報管理と、ユーザーからの質問に的確な回答をするためのチャットボット機能の磨き上げを重点的に進め、今後は観光客自らが嬭恋村LINEアカウントで情報収集し、電話や窓口への問い合わせ減少による業務負担の軽減を目指しています。

また、友だち登録をしていただいたユーザーには、プッシュ通知機能を通

▼ 観光客へのプッシュ通知。LINEトーク画面上へ定期的に観光情報をプッシュ通知することで、観光客の関心を引き出す（右下）、季節のPR情報やイベント情報のプッシュ通知画面（左下）



して旬な観光情報を配信しています。ただ単に情報を発信するのではなく、ユーザーが読みたくなるようなコンテンツ作りを心がけています。例えば、テキストのみで情報発信するのではなく、テキストと画像を組み合わせて、1つのメッセージとして配信できるリッチメッセージ機能の配信も行っています。使用する画像は統一性あるもので、さらにその画像をクリックするとリンク先の詳細ページへ飛ぶなどユーザーも読みやすいものになっています。

このLINEアカウントの活用にあたって重要なものが、村内の観光事業者、観光客それぞれに明確なメリットを与えるということです。

例えば、プッシュ通知機能の活用については、毎月観光事業者からイベント情報やお得プランなどの情報を募集し、毎月1日に「ピックアップ情報」として配信する際に、観光施設としては比較的関心の高いユーザーに直接届けることが可能です。また観光客にとっても旅行を計画する前にお得情報を受け取ることが可能となっています。また、毎月事業者向けプッシュ通知について、検討会を開催し、通知方

フォーラム

法や発信内容の相談など、事業者と密に意見交換をしています。

事業者からの声とアンケートによるユーザーからの客観的な意見を参考にしながら、常に利用者目線でプッシュ通知発信を心がけ、本システムが観光従事者、観光客双方にとってより良いものになるよう、改善を続けていきます。



▲観光情報管理機能にてプッシュ通知する情報を作成する画面

3. 現在位置からの周辺施設や店舗の情報提供

使いやすく、より多くの方に利用してもらうことを考慮し、多くのユーザーを抱えるLINEを利用することとしました。比較的簡単に観光客へ情報を提供できる点が大きなメリットだと感じています。今回「孺恋村公式LINEアカウント」では、次のような機能を構築しました。

- (1)エリアから探す
- (2)テーマから探す
- (3)地図から探す
- (4)質問する（チャットボット）

例えば、「地図から探す」では、地図上で施設のジャンルを絞り込めるだけでなく、自分の現在地を軸として周辺にある飲食店や日帰り温泉施設などを見つけることができます。さらに詳しい情報を知りたい場合は、地図上に出るアイコンをクリックすることで営業時間などの詳細が確認できます。各施設の設備・サービスに関しては、ピクトグラムを用いたことで電子決済などの可否が一目でわかるようになっています。

4. 今後に向けて

「観光・関係人口増加のための孺恋スマートシティ」には新たな試みも多くありましたが、構築し1年以上

が経過し運営管理も比較的安定してきました。

運用していく中で課題もあります。チャットボット機能に関しては、AIクセスログ解析を行うことにより、回答精度を向上させる必要があります。また当然のことですが施設情報の管理では、常に村内の施設の状態を把握しておく必要があります。コンテンツを充実させるためには莫大な量のデータを、頻繁にメンテナンスしなければなりません。最新かつ正確な情報をユーザーに届けるため情報更新に関する部分について継続して行えるようなシステムを構築する必要があります。

スマートシティの始動により、地域居住者のみならず観光客も簡単に情報を受け取ることができるようになり、さまざまな可能性を生み出すきっかけとなっています。これまで当村での観光においてさまざまな問題が顕在化してきましたが、今後のさらなるDX推進の動きが課題解決への鍵になると思います。

群馬県孺恋村 未来創造課

下谷 博文



▲鬼押し出し園は、1783年に起きた浅間山の噴火の際に流れ出た溶岩がー帯に広がる観光名所。高山植物観察コースや奥の院参道などといったコースがあり、季節の花などを楽しみながら園内を1周できる

地方公共団体金融機構

令和6年度 地方財政や金融に関する研修・セミナーを実施します！

自治体運営の参考として、地方財政や金融に関する各種の研修・セミナーを実施しています。基礎から専門的な知識の習得、最新の動向の把握など、ニーズに応じてぜひ積極的にご活用ください。

JFM地方財政セミナー・JFM地方公営企業セミナー

地方財政や地方公営企業に係る関心の高いテーマについて、国における最新の動向や、先進的な取組事例を紹介します。

実務担当者の
生の声が聞ける！



日帰り

研修名	開催日	場所	講義プログラム(予定)
JFM 地方財政 セミナー	令和6年7月11日(木)	東京会場(JA 共済ビル)	地方公会計に基づく財務書類等の活用方法や、公共施設等の適正管理といった、地方財政に係る関心の高いテーマなど
	令和6年8月22日(木)	福岡会場(TKP ガーデンシティ博多新幹線口)	
JFM 地方公営企業 セミナー	令和6年7月12日(金)	東京会場(JA 共済ビル)	「公営企業のDX・GX(上下水道)」や「公営企業の経営改善(病院)」といった、地方公営企業に係る関心の高いテーマなど
	令和6年8月23日(金)	福岡会場(TKP ガーデンシティ博多新幹線口)	

宿泊型 地方公営企業等の担当職員(初任者～中堅職員)を対象としています。

研修名	開催日	場所	講義プログラム(予定)
JFM 地方公営企業 セミナー	令和6年6月 5日(水)～7日(金)	全国市町村 国際文化研修所 (JIAM: 滋賀県)	地方公営企業の基本的な制度の概要及び財務会計制度、経営戦略の改定などについての講義・演習

資金調達・資金運用に関する研修

日帰り

資金調達や資金運用の基礎を短期間で学びたい職員を対象としています。

日帰りと宿泊型、
選べる2つの学び方！



研修名	開催日	場所	講義プログラム(予定)
資金調達入門研修	令和6年7月29日(月)	東京会場(JA 共済ビル)	借入金利の見方、借入金利の分析、銀行等引受債の借入交渉、日本経済の見方、日本銀行の金融政策と金利動向
	令和6年8月29日(木)	大阪会場(TKP ガーデンシティ PREMIUM 大阪梅田新道)	
資金運用入門研修	令和6年7月30日(火)	東京会場(JA 共済ビル)	資金運用商品の種類と特徴、資金運用のリスク管理、資金運用の手法、銀行の現状と指定金融機関、日本銀行の金融政策と金利動向
	令和6年8月30日(金)	大阪会場(TKP ガーデンシティ PREMIUM 大阪梅田新道)	

宿泊型 資金調達と資金運用を基礎から専門的知識までじっくり学びたい職員を対象としています。

研修名	開催日	場所	講義プログラム(予定)
資金調達・運用・ 財政分析の集中講座	令和6年7月 17日(水)～19日(金)	全国市町村国際文化研修所 (JIAM: 滋賀県)	資金調達入門研修、資金運用入門研修、 資金調達・運用に関する取組(事例発表)、 グループワーク、演習など
	令和6年9月 18日(水)～20日(金)	市町村職員中央研修所 (JAMP: 千葉県)	

※日帰り研修と宿泊型研修は一部内容が重複しています。

お知らせ

- 最新の情報は機構 HP でご確認ください。
- お申し込みは機構 HP (宿泊型研修は JIAM、JAMP の HP) にて受付けます。

<https://www.jfm.go.jp/support/development/training/index.html>

地方公共団体金融機構 研修 検索



お問い合わせ先

- ☎ セミナー: 調査企画課 :03-3539-2676
- ☎ 研修: ファイナンス支援課 :03-3539-2677
- ✉ chihoushien@jfm.go.jp (共通)

金融で地方財政を支え 地域の未来を拓く

地方公共団体金融機構
Japan Finance Organization for Municipalities

町村

ご当地キャラじまん

Vol.141

特産品だけじゃない!

文化・歴史を身にまとして観光大使!!

ご当地自慢の美味しいものや伝統行事を身にまとい、体を張ってPRしているご当地キャラたちを紹介するコーナーです。今回は、東ブロック(北海道・東北・関東)からピックアップ。

東
ブ
ロ
ッ
ク

11月11日(もやしの日)、とあるもやし小屋で誕生。大好きな温泉に入っていたらみるみる体が大きくなったというもやしの妖精。明るくシャキシャキとした性格。温泉巡りや俳句づくりが大好き。チャームポイントはい肌。



大鰐町ゆるキャラ。

もやっぴー

青森県大鰐町

青森県内外へ向けた大鰐町PRの推進とともに、町の活性化及び町民の参画意識の向上を目的に、大鰐町の広告塔となるキャラクターとして誕生したのが「もやっぴー」です。令和元年(2019年)11月23日に開催された「まると大鰐秋の感謝祭」でお披露目されました。キャラクターのモチーフとなっている「大鰐温泉もやし」は、温泉熱と温泉水のみを用いて栽培される、通常より長い「もやし」で、大鰐町の特産品です。名前は、一般公募により、「もやし」を食べてみんな「ハッピー!」から名付けられました。いつも手に持った桶に入ったお友だちの小さなワニと一緒に町内外のイベントに積極的に参加。これからも多くの人々に、大鰐町の魅力と「ハッピー」を届けるために活動していきます。

会津坂下町イメージキャラクター

バンビィ

福島県会津坂下町

第四次会津坂下町振興計画の策定を記念し、振興計画の基本目標である『はな咲く ばんげ いにしえ街道』をテーマとして、平成13年(2001年)にキャラクターを公募しました。全国からの応募作品381点の中から選定し、同年2月に「バンビィ」が誕生しました。坂下町(BANGE)の頭文字「B」をモチーフに擬人化し、未来に向けて躍進する会津坂下町をイメージしてデザインされました。普段は、町への愛情がたっぷりつまっているふくよかで愛くるしいまんまるなフォルムですが、マラソンや大儀引きをするときは、すらっとした体型に早変わりするのだとか。町のキャラクターとして、町民から親しまれている「バンビィ」。大好きな会津坂下町をたくさんの人々に紹介したいと毎日張り切っています。



2001年生まれ。明るく前向きで、いたずら好きな男の子。綱引き(大儀引き)やマラソン、そば打ちが得意。温泉やお祭りが大好きで、ごはん、馬刺し、冷やしラーメンが好物。



瑞穂町公式キャラクター

みずほまる

東京都瑞穂町

瑞穂町の小・中学生議会において、「町を有名にするために公式キャラクターを作ってほしい」という小学生の意見があり、町制施行80周年を機に町の公式キャラクターが誕生しました。令和2年(2020年)にデザインと愛称の公募を行い、応募作品全633点の中から数回の選考会と町民による人気投票の結果、「みずほまる」に決定しました。多摩だるまとホンドタヌキを合わせた愛らしいフォルムに、色はカタクリの鮮やかな薄紫色とシクラメンの薄桃色。シクラメン、カタクリ、ニリンソウ、東京狭山茶で作った花冠を被った愛くるしいキャラクターとなっています。町の特産品のシクラメンや東京狭山茶、多摩だるま、狭山丘陵の豊かな自然、「さやま花多来里の郷」など、町の魅力を発信し、瑞穂町のPR活動に取り組みしていきます。

今回は、中ブロック(北信・東海・近畿)からご紹介します。

随 想

今日は朝からいいお天気だ。これだと夕方まで崩れはなさそうだ。しかもほとんど無風、気温も20度前後。よし、最高のツーリング日和。休日でのこのような条件の日はめったにありません。もちろん平日では何日かはあります。また、休日でもいい条件の日はありませんが、いろいろな公務・イベントが入ります。そんな時はもちろん公務・イベントを優先します(立派)。

そもそも快適なツーリングは、極端に暑からず寒からず、しかも風のない日です。風の強い日はヘルメッ

キ口くらいと排気量にしては比較的軽く、その分ものすごい出足加速です。しっかりハンドルを握っていないと振り切られます。

車と違って2輪ですから特に始業点検はしっかりとしていざ出発、と思ったらわが女房「私も行く」となりました。後ろに跨ってと思うでしょうが実はそうではありません。実は女房、生意気にも自動二輪の小型免許を持っており、ピンクナンバーのアメリカンタイプのバイクが愛車です。しかし、このクラスは高速道路や高規格道路は走れません。

す。高速道路は信号もなく快適ではありませんが、それもしばらくすると単調すぎて目的地を持たないただのツーリングでは飽きが来ます。やはり、一般道は変化に富んで新たな土地での発見がいくつかあります。

女房と2人のツーリングは横並びの体系ではなく、少し斜めの縦並びで流れに沿って走りますが、市街地では他の車に割り込まれたり、信号で遅れたりと常に一緒という訳にはいきません。そんな時、かつては携帯電話で連絡を取りましたがこれが非常に不便でした。今はインターコ



風に吹かれて

青森県町村会長・七戸町長

小又

勉

トの風切り音が気になります。それ以上に強い風にバイクが煽られ危険です。また、気温15度以下では完全武装でもどこからか冷たい風が入り、長距離のツーリングでは体が冷えてきます。

したがって、公務もなくお天気もいい日、千載一遇のチャンスは当然ツーリングとなります。そんな年に何回かのチャンス到来であれば、よく磨きこんだわが愛車の出番です。今のバイクはハーレーFXDR114・1860CC、パワーは不足ありません。このバイクは重量が300

走れるのは一般道路のみです。今回はお天気もいし高速道路を飛ばして日頃のストレスも飛ばそうと目論んでいましたが、「私も行く」の一言でその目論見は見事叶いませんでした。

残念ながら、今回も一般道で我慢となります。それでも考えようによつては、一般道のほうがいろいろな景色、いろいろな人を見ることが出来ます。海のそばを走ると磯の香りがしますし、酪農地帯を走ると牛のいい(?)匂いがします。そんな時はツーリングの楽しさを実感しま

ムという便利な器械があり、無線で連絡を取りながら走ります。市街地を抜けると単調になり、つい歌を口ずさむことがあります。当然、それが相手に聞こえるはずで「下手くそ」という声が返ってきます。ともあれ、便利な器械だなあと思っています。

そして、ほどほどに走ったらその土地のおいしいものを食べてあまり遅くならないうちに帰るようになっています。二輪車ですから無理は事故のもと、これだけは絶対守るようになっています。

さて、私のバイク歴は長いもので



▲「MOTORY ミーティング in 七戸町」にて (令和5年8月19日撮影)

す。はじめはホンダシャドー1100CC逆輸入車、そのあとハーレーファットボブ1560CC、今のファットボブとはクラスが違うバイクでした。どうせ乗るんだったら一番でかいのに乗りたいと思い、手を伸ばした憧れの1台。排気量は1560CCですが重量が何と4000キロを超えてるので、倒したら絶対1人では起こせないという代物です。重量感があり、走れば安定感があつてしばらく乗りました。しかし、取り回しが大変でバックギアを付けたりしましたが、やっぱり重すぎるので今のバイクに落ち着きました。

安全に慎重に走ればバイクは楽しいものです。風を感じます。いい歳になりましたが、これからもいい日を選んでツーリングを楽しみたいと思います。